

高知市

No.142

【編集発行】

社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 高知市塩田町18番10号 TEL(088)823-9515 FAX(088)823-8059 E-mail:shakyo@kochi-csw.or.jp URL:http://www.kochi-csw.or.jp/ 平成25年5月発行

社協だより

高知市地域福祉活動推進計画が策定されました。

誰もが安心して暮らせる 支え合いのあるまちづくり ~地「参」地「笑」~

※地「参」地「笑」とは、地域福祉活動へ積極的に参加をして、地域に笑顔があふれる暮らしをつくっていくことです。 合言葉は

こえかけあい、たすけあい
うんとひろげよう
ちいきのえがお



社会福祉協議会は、「地域福祉の推進」を使命とする団体です。したがって、高知市社協の存在意義は、その使命達成に邁進することにあります。今後、高知市社協は、地区社協・地区民児協をはじめ、社会福祉事業団体やNPO法人、町内会、自治会、自主防災組織さらには百歳体操に取り組んでいただいているグループなど、地域に存在するあらゆる組織・団体との連携と新たな体制のもと、「オール社協」を合言葉に取り組みを開始します。

高知市と高知市社協が一体となって推進する「高知市地域福祉活動推進計画」が、4月1日、いよいよスタートしました。本計画は、公募委員2人を含む総勢17人の委員で構成された高知市地域福祉計画推進協議会会長 高知県立大学社会福祉学部 小坂田 稔教授 から答申いただいたものです。我が国の福祉施策の多くは、問題を抱えた「個人」を対象としており、決して「地域」を対象とするものではありませんでした。ところが今、私たちの住む地域社会はどうなっているのでしょうか。住民相互の日常的な繋がりは薄れ、近隣関係は明らかに弱体化しつつあります。問題は、その裏側において「他人に迷惑をかけたくない」「他人の世話になりたくない」と周囲に助けを求めることもなく、社会的孤立状態にある方々が存在していることです。中には「助けて」「一言が言えないため、事態をより深刻化・重度化させ、孤独死という最悪の結果をも招きかねない方もいます。

また、地域では、一人暮らしの高齢者に対する見守りや生活支援、障害者の地域での自立生活支援、さらには共働き世代への子育て支援など、制度福祉の谷間を埋める支援策が不十分なために問題を抱え、苦しんでおられる方々も少なくありません。今こそ私たち一人ひとりが主体的に「一人ひとりが可能な範囲で、誰もが安心して暮らせる支え合いのある地域づくり」に向けた取り組みを開始すべきときではないでしょうか。「高知市地域福祉活動推進計画」はそのために策定された計画です。



社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 会長 吉岡 諄一

「高知市地域福祉活動推進計画」のスタートにあたって

Return slip area with columns for name, address, and phone number.

高知市社会福祉協議会は「ねんりんピックよさこい高知」に関わるボランティアさんの募集や研修等を行っていきます。

Table listing 9 sports events: テニス, ソフトテニス, ソフトボール, 弓道, サッカー, 水泳, ボウリング, 保龄, 健康マージャン. Includes locations and dates.

ねんりんピックよさこい高知2013 平成25年10月26日(土)~29日(火) 第26回全国健康福祉祭こうち大会. Includes logo and contact info.

福祉サービスに関する苦情解決制度のご案内

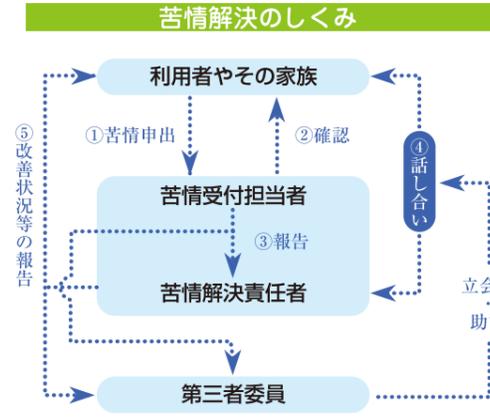
高知市社会福祉協議会の行う福祉サービスの内容について、ご不満やご要望がありましたら、下記の苦情受付担当者までご連絡ください。皆様のご意見等をもとに、福祉サービスの向上に努めてまいります。

平成24年度 苦情受付(処理)件数0件 (平成24年4月1日~平成25年3月31日)

【苦情解決責任者】(法人共通) 事務局長 島崎 豊 823-9515

Table of complaint handling staff: 施設および事業, 苦情受付担当者, 役職, 電話. Lists staff for various centers like 高知市保健福祉センター, 介護・障害事業等, etc.

- ◆ 申出について、秘密は厳守いたします。
◆ 申出人との話し合いにあたっては、必要に応じて本協議会職員以外の第三者委員が立会い、助言をいたします。
◆ 第三者委員に直接申し出することもできます。



【第三者委員】 島元健三 電話 882-9499 山下富美子 842-4722

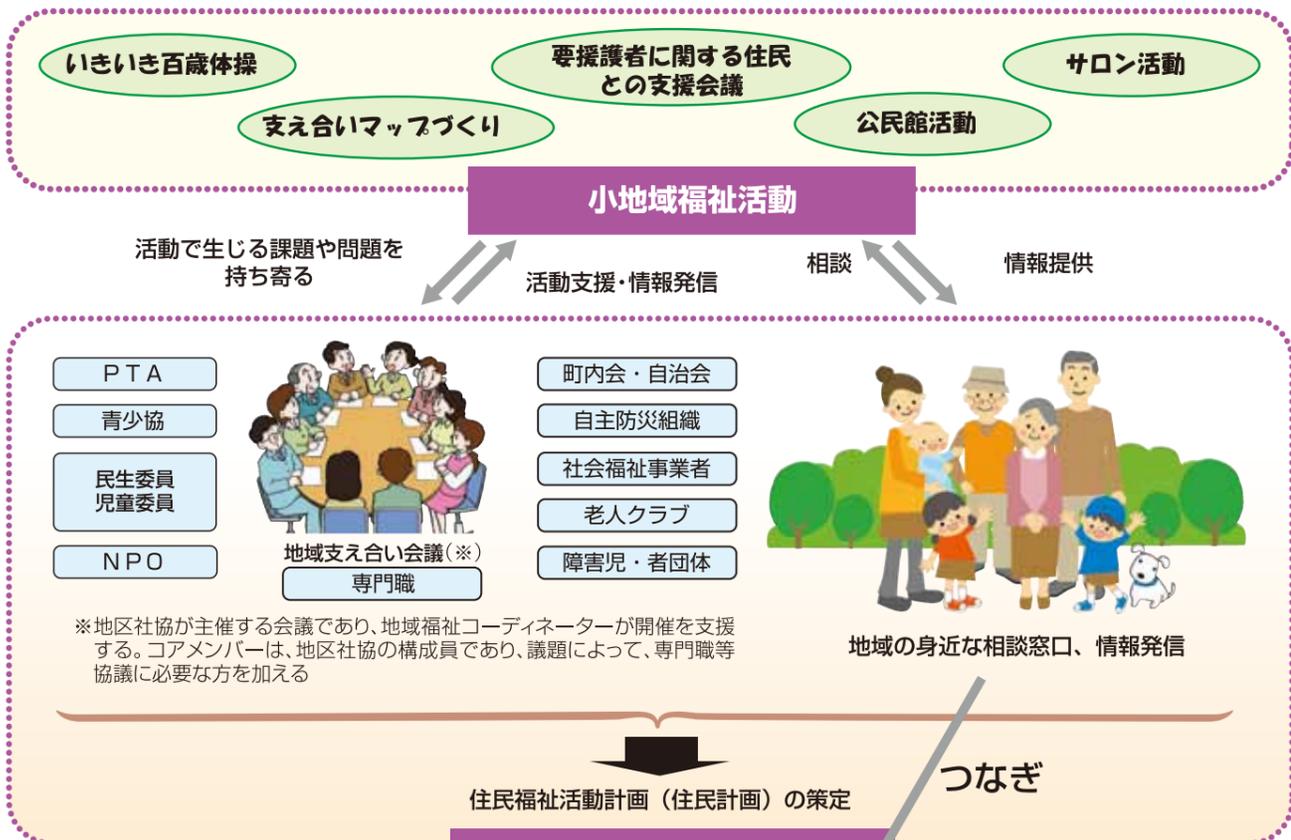
高知市社会福祉協議会の会員募集

市社協では、地域福祉活動を推進するために、社協活動にご賛同いただく会員を広く募集しています。

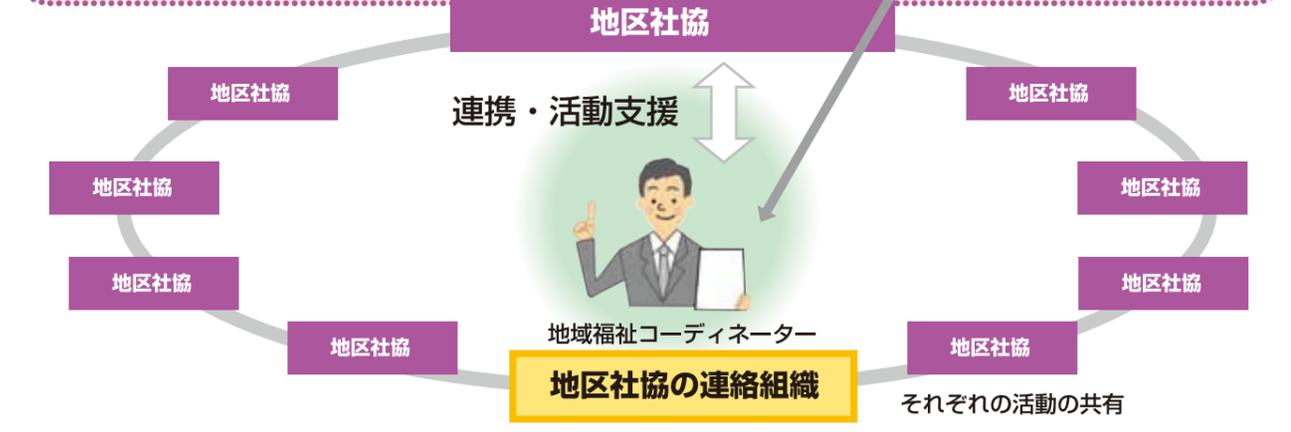
Table of membership fees: 賛助会員 (500円), 特別賛助会員 (1,000円). Includes details about inclusion in newsletters and events.

Thank you notice for donations: ありがとうございます。寄付のご紹介. Lists donated items like books, stationery, and a membership card.

小地域での支え合い活動の推進と地域での支え合いの仕組みのイメージ



※地区社協が主催する会議であり、地域福祉コーディネーターが開催を支援する。コアメンバーは、地区社協の構成員であり、議題によって、専門職等協議に必要な方を加える



新人職員紹介

高知市社会福祉協議会では、平成25年4月から5名の職員を採用しました。

①職種②出身地③Eメール



須藤 碧
 ① 地域福祉コーディネーター
 ② 高知市
 ③ 根っからのちんぽん娘です。頼られる社協マンになれるよう精一杯努力します。



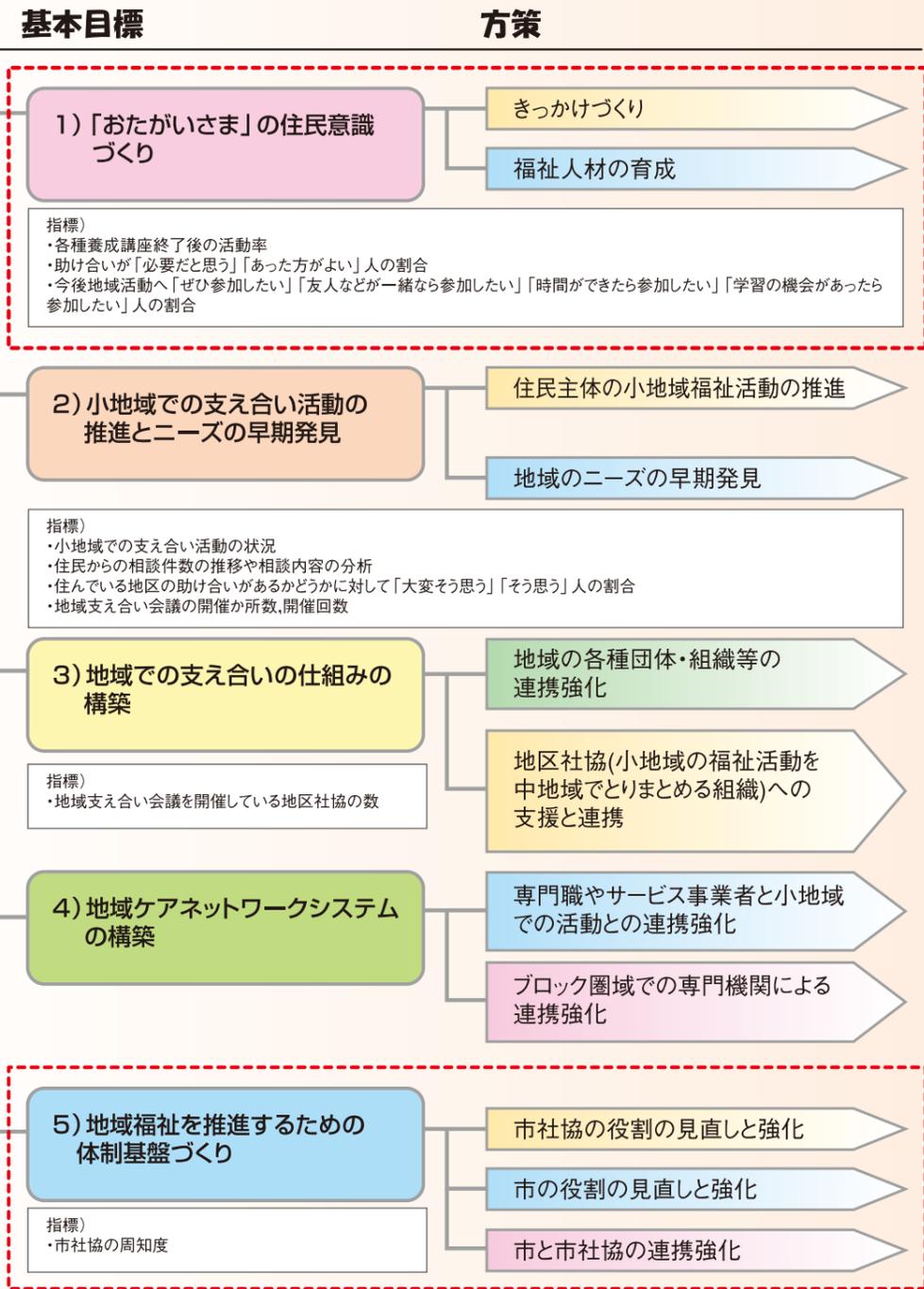
野村 佳孝
 ① 地域福祉コーディネーター
 ② 日高村
 ③ たくさんの話を伺うことができるように、親しみを持っていただけるように頑張ります。



馬場 敦久
 ① 地域福祉コーディネーター
 ② 佐川町
 ③ 誠心誠意、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

計画の体系図 基本理念

誰もが安心して暮らせる支え合いのあるまちづくり



平成25年度から地域福祉コーディネーターを配置します。



地域福祉コーディネーターとは、地域社会の生活問題について、地域住民の主体性を高めつつ、住民自らそれらの問題を明確化し、解決していくことを側面的に援助する市社協の職員です。

地域福祉コーディネーター(市社協職員)は、当面、東西南北4ブロック圏域に各1名配置し、上の活動を行います。

高知市成年後見サポートセンターは1周年を迎えました



高知市成年後見サポートセンター職員

四国で初めての成年後見制度等に関する総合相談窓口として開設されました当センターは、お陰様で1周年を迎えることができました。

当初の予想を超える多くの相談を受け、この制度に関する関心の深さを痛感しました。

センターの運営に対し、各関係機関の方々からご支援ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

センターの運営状況としましては、初回相談件数は平成24年度503件でした。以前の相談件数は平成22年度66件、23年度111件と増加傾向にありましたが、センター開設後は、前年度より5倍近くの相談をいただいたことになります。

また、センターが関わって申立てを行い、後見人等の支援が開始された件数は30件を超えております。社会、地域の在り方の変化により、成年後見制度の必要性はますます高まることが予測されます。それにともない、「後見人不足」も深刻な問題となっております。

センターでは、これらの問題に対応するため、今年度は、後見人に就任予定の親族の方を対象とした「市民後見人養成講座」の開催を予定しております。

判断能力が不十分な状態になっても、制度活用や地域課題の解決を行うことによって住み慣れた地域で安心して暮らすことは可能です。

住民の方一人ひとりが安心した生活が送れるようにセンター職員一丸となって取り組んで参りますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



平成24年12月11日第4回運営委員会

名士チャリティ色紙展示即売会



昨年11月29日～12月1日の3日間、高知市、高知新聞社会福祉事業団、高知市社会福祉協議会の主催による「名士チャリティ色紙展示即売会」を、高知市文化プラザかるぽーとにて開催いたしました。

この催しは、県内外で活躍される画家、書家、著名人等の名士の方々に染筆していただいた色紙を展示即売し、収益金を障害のある方が働く事業所の活動資金として役立てようと毎年開催しております。ご来場・ご購入いただきました多くの方々、そして、出品していただいた諸先生方、誠にありがとうございました。



平成23年度に実施した名士チャリティ色紙展示即売会で得た収益金と、民生委員児童委員の皆様からのご厚意による寄付金を、下記の6事業所に助成いたしました。

平成24年度 事業部収益金の助成先一覧

助成先	助成内容	助成先	助成内容
ライフ・ステージ あおぞらセンター	防塵集塵機器整備	ワークスみらい高知	ソフトクリームマシン購入
すずめ旭天神センター	農機具(コンテナ・耕運機等)購入	障害者就労支援ローカルネットワーク	作業環境整備品(エアコン、テレビ等)購入
まあるい心ちゃんじどの応援団	給水外線工事	るーちえ	農機具(草刈り機・ロッカー等)購入

平成25年度 事業計画

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのあるまちづくり」を目指して

「高知市社協」の活動



I 地域との連携による地域福祉

- (1) 支え合いのあるまちづくりの推進
 - ① 地域福祉推進事業
 - ② 福祉関係団体等との連携
 - ③ ボランティアセンター事業
 - ④ その他

II 在宅福祉サービスの推進

- (2) 福祉サービス利用支援等の推進
 - ① 成年後見サポートセンター事業
 - ② 生活福祉資金貸付等事業
 - ③ その他
- (3) その他
 - ① 共同募金運動の推進
 - ② 生きがいデイサービス事業
 - ③ 外出支援サービス事業
 - ④ 介護保険・居宅介護給付外有償サービス
 - ⑤ 難病患者等ホームヘルプ事業
- (1) 介護保険事業の推進
 - ① 居宅介護支援事業・介護予防支援事業(受託)
 - ② 訪問介護事業・予防訪問介護事業
 - ③ 通所介護事業・予防通所介護事業
- (2) 障害福祉サービス事業の推進
 - ① 居宅介護事業・同行援護事業・移動支援事業
 - ② 生活介護事業・日中一時支援事業
 - ③ 障害者相談支援事業
 - ④ 就労継続支援事業

- (4) 障害者福祉の推進
 - ① 社会参加促進事業
 - ② 障害者支援窓口事業
 - ③ 在宅介護支援センター事業

- (1) 組織基盤整理
 - * 職員の人事管理・労務管理の適正化
 - * 人材育成
- (2) 指定管理業務受託
 - * 指定管理施設の適正な管理運営
 - * 障害者支援窓口
- (3) 情報発信
 - * 広報活動の充実
 - * 高知市社会福祉大会の開催
- (4) 苦情解決機能整備
 - * 第三者委員との連携
- (5) 福祉人材養成支援
 - * 各種実習生の受入れ協力

平成25年度予算 (単位:千円)

一般会計

経常活動による収入		経常活動による支出	
会費収入	1,100	社協運営事業	71,986
寄附金収入	663	日常生活自立支援事業	16,221
経常経費補助金収入	88,097	社会福祉啓発事業	1,450
助成金収入	3,224	まごころ銀行事業	1,469
受託金収入	153,263	ボランティアセンター事業	6,886
事業収入	2,361	生活福祉資金貸付事業	12,861
貸付事業等収入	15	社会福祉金庫貸付事業	15
共同募金配分金収入	1,620	チャリティ色紙展示事業	2,051
負担金収入	2,887	保健福祉センター等管理事業	9,802
介護保険収入	221,815	外出支援サービス事業	4,665
利用料収入	1,588	生きがいデイサービス事業	5,378
自立支援費等収入	66,823	在宅介護支援センター運営事業	2,726
移動支援費収入	1,009	成年後見センター事業	7,890
雑収入	1,779	地域貢献事業	14,044
同行援護事業収入	5821	地域福祉活動推進計画事業	21,000
受取利息配当金収入	830	居宅介護支援事業	10,839
会計単位間繰入金収入	931	ホームヘルパー等派遣事業	28,103
経理区分間繰入金収入	43,385	高齢者デイサービスふれあい事業	76,748
財務活動による収入	9,034	居宅介護支援事業たきゆり	9,209
前期末支払資金残高	31,019	通所介護支援事業たきゆり	30,470
		居宅介護事業はるの	9,737
		訪問介護事業はるの	14,036
		通所介護事業はるの	82,664
		居宅介護事業等	11,925
		生活介護事業等	65,647
		同行援護事業	4,460
		移動支援事業	651
		障害者相談支援	18,248
		障害者社会参加促進事業	11,844
		指定管理者制度事業	79,151
		基金運営事業	9,258
		施設設備等による支出	5,652
		財務活動による支出	10,291
		予備費	800
収入合計	637,264	支出合計	658,177

就労継続支援B型事業会計

就労支援事業活動による収入	2,005	就労支援事業費	2,009
福祉事業活動による収入	31,284	福祉事業活動費	35,033
支援費収入	30,517		
利用料収入	645		
寄附金収入	1		
雑収入	101		
受取利息配当金収入	20		
収入合計	33,289	支出合計	37,042

ありがとう! 赤い羽根

<募金実績額>

- ・ 赤い羽根募金 37,191,319円
- ・ 歳末たすけあい募金 13,424,108円

お寄せいただいた寄付金は、社会福祉施設の整備や小規模作業所の運営、福祉関係団体等の育成に、また、ボランティア団体やNPO法人等の地域福祉活動や在宅福祉サービスの推進に役立つよう配分させていただきます。

募金運動へのあたたかいご協力ありがとうございました。

旭のお世話焼きさん実践発表会&お茶会・交流会

3月13日、高知市旭地区で活動をしている団体の皆さんが一堂に会する「旭のお世話焼きさん実践発表会&お茶会・交流会」が開かれ、互いの取り組みや想いを交換しました。

旭地区では、自分たちの街をより良くするために町内会や住民組織、NPO団体が、マップ作りをしたり、サロンを開いたり、配食を行ったりされています。今回は



はそれら団体の方々に自分たちの活動を発表していただき、他の団体の良さを学び、繋がりを持ってもらうために、高知市高齢者支援センターや高齢者支援センター出張所、高知市健康づくり課、高知県社会福祉協議会、高知市社会福祉協議会が中心となって開催しました。

会には、活動をされている団体の方を始め、地域住民の方、行政関係者や保健師、社会福祉士等の専門職ら約70人が集まりました。

上本宮町の「サロン大崎さんち」からは、住民同士の普段からの交流は災害時にも役立つとの考えから、いきいき百歳体操やサロンを開催し、また昼間は参加が難しい男性たちは夜に酒を酌み交わして交流する「おんちゃんクラブ」を企画するなどの活動発表がされました。

どの団体の方からも、地域の絆、支え合いを大事にされていることが発表され交流会では、発表された7団体の方を中心に意見交換や情報共有が行われました。参加者からは「サロンの立ち上げはどのようにしました?」「活動の雰囲気を見てみたい」などの質問があり、非常に大盛況でした。



とてもおもしろかったカツオのタタキ！！

3月16日、池澤秀郎さん(上町池澤本店 5代目社長 高知市上町4丁目)を講師に、高知市障害者福祉センターで、障害がある方を対象にカツオのタタキの実演が行われました。

この事業は、障害者福祉センターが実施している障害者の社会参加事業の一環で、5.2キロのカツオ一匹を捌いてワラ焼きタタキを作りました。

この日は、障害がある方とその付き添いの方ら約30人が参加されました。まず、池澤社長の指導のもと捌かれたカツオを参加者が実際に焼いてみました。



焼きあがったカツオに参加者が包丁を入れ、ニンニクやタマネギ、タレで味付けをしました。

大皿に盛られたタタキを参加者全員で囲んで、早速試食しました。「おいしい」「みんなで焼いて、みんなで食べるのもまた違うね」との参加者の絶賛の声。

池澤社長は、障害のある方に初めて指導したということで、「目の見えない方もいて、目が見えなくても出来るんだなあとびっくりしました。みんな明るく、とてもいい印象を受けました」と感動した様子で話してくれました。

至福のひとつときごちそうさまでした。

視覚障害者ガイドヘルパースキルアップ研修会

高知市社会福祉協議会ヘルパーステーションでは、視覚に障害があり、日常生活に様々なサポートを必要とする方を訪問するヘルパーを対象としたスキルアップ研修を開催しました。

視覚に障害のある方の支援には、同じヘルパーとしての訪問でも特別の配慮が必要です。ガイドヘルパーの資格を持ち、経験豊かなヘルパーにとっても基本に戻って研修する機会があればいいのではないかと考え、高知市社会福祉協議会の地域貢献事業として、高知市内のヘルパー事業所や視覚障害のある人に関わる専門職等に呼びかけ、支援者のスキルアップにつなげるよう今回の研修を行うことにしました。

このスキルアップ研修に先立って、昨年10月には「視覚障害者への情報支援とは」という講演会を行い、専門職や一般の方を対象に、視覚障害のある人にどのような情報をどのように伝えればよいかというお話を聞きました。今回はそれに続く専門職としての研修となります。



講師は、高知市障がい福祉課の西岡和美さん、渋谷晶さんのお二人にお願いし、視覚障害についての基礎知識やアイマスクを装着してお互いを手引きするガイド体験など、初心に帰って基本を学ぶ研修になりました。

勤務時間に変動があるヘルパーが参加しやすいように、同じ内容の研修を曜日と時間帯を変えて、2ヶ所で計6回開催し、ガイドヘルパーや視覚障害の方の通院や家事援助等の支援を行っている高知市内のヘルパーら延べ90人の方に参加していただきました。参加者からは、「目から鱗だった」「目の見えない人たちが何故そのような行動をとるか分かった」等の感想がありました。



傾聴ボランティア養成講座

3月24日、高知市保健福祉センターにて、高知市社会福祉協議会主催で傾聴ボランティア養成講座を開催しました。

自分の話に人が耳を傾けて聞いてくれる、ただそれだけで心の底にあった悩みや寂しさが軽くなることがあります。ひとり暮らしや、施設で暮らす高齢者の方々の中にはもっと話し相手欲しい、または外に出て人と話すことが難しいという方がいます。そんな方々のニーズに応えるお話し相手のボランティア(傾聴ボランティア)になるための基本的知識や技術を身に付けるための講座を開催しました。

傾聴ボランティア高知とんぼの会山本典判会長による「お話のよい聴き方」の講義を頂き、傾聴の基礎知識を学びました。その後、高知とんぼの会会員さんの体験談を発表して頂きました。3人1組のロールプレイでは、話し手・聴き手・観察者に分担し、とんぼの会会員さんにアドバイスを頂きながら、それぞれの立場を体験しました。本講座には、50名の市民の方に参加していただき、受講された方からは「大変有意義な勉強会でした。また次回参加したいです」「参加して良かったです。聴くことの大切さを再認識出来ました。今後自分の地域に活かしたいです」とのご感想をいただきました。

